

平成 28 年度 第 6 回番組審議会

議 事 録

株式会社エフエム戸塚

横浜市戸塚区川上町 91 番地 1

平成 29 年 3 月 18 日

平成 28 年度 第 6 回番組審議会 議事録

- 日 時 : 平成 29 年 3 月 18 日 (土) 12:30~14:00
 - 場 所 : 株式会社エフエム戸塚会議室
 - 出席者 : 番組審議会委員 4 名 (総数 6 名)
 - 審議会委員 : 福嶋 隆太郎、福島 雅樹、本橋 修、大滝 紀子
 - 事務局 : 紺野 望、吉川 雅子、河原 愛美
 - 議事録 : 番組審議会事務局作成
-

■議題

1. 番組「東戸塚駅周辺混乱防止対策訓練に伴う災害放送訓練 その 1・その 2」に関するご意見について
2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について
3. その他ご意見ご感想について

■議事

1. 番組「東戸塚駅周辺混乱防止対策訓練に伴う災害放送訓練 その 1・その 2」に関するご意見

番組「東戸塚駅周辺混乱防止対策訓練に伴う災害放送訓練 その 1・その 2」2017 年 2 月 16 日 (木) に放送

事務局

- ・毎年戸塚駅と東戸塚駅、周辺商業施設、自治会で行っている。その際にエフエム戸塚で災害放送を行っている。
- ・今回は駅構内に情報発信ブースが設置された。
- ・エフエム戸塚が情報提供の覚書を締結している 13 団体との連携についても確認した。

一各審議会委員からの意見は次の通りである。

審議会委員(A)

- ・東戸塚駅の情報発信ブースにラジオを設置したが、それを聞いた人がどう思うか興味深い。
- ・災害放送をラジオで流すのは難しいのではないかと思ったが、結果的に流して良かった。BGM の曲も落ち着いていて良かった。震災を想起させるような曲であってはいけないので、非常に良い。
- ・放送の目的も述べており良かった。
- ・どこからの発信なのか、何時何分現在の情報なのかを徹底して伝えるべき。
- ・現場からの中継でハウリングしていた。
- ・非難に関する人数で 200 名と 300 名が混在していた。
- ・一時滞在施設の横浜福祉専門学校には全く触れていなかった。
- ・ビジョンの利用は非常に良かった。
- ・実際には帰宅困難者以外の情報を伝えることになるだろう。

審議委員(B)

- ・「訓練です」「これは架空の情報です」と繰り返し述べていて良かったが、「訓練放送です」は別の人の声が入ると良かった。*実際には所々別の人の声も入っていた。
- ・役所の部分で硬い文章があった。
- ・戸塚の周辺以外の情報が入っていた。
- ・パーソナリティーが移動していたが、もう少し広範囲にできると良い。実際に災害時にエフエム戸塚はどんな体制になっているのか。
- ・東戸塚駅周辺の訓練だったが、戸塚駅周辺の帰宅困難者の避難施設があってもよかったと思う。
- ・前回に比べると情報量が多くなった印象を受けた。

審議委員(C)

- ・通常の放送と異なる訓練放送なので緊張感があった。
- ・訓練放送であることを繰り返しており良かった。
- ・落ち着いたゆっくりしたコメントは安心感を与えた。
- ・参加者・参加団体を丁寧に紹介する 什么样的人や団体が参加しているかという情報はリスナーに安心感を与える。
- ・エフエム戸塚と覚書を結んでいる団体をリスナーはほとんど知らない。時間の配分は難しいかもしれないが、団体名・普段からどういう情報を公開しているかを紹介すべき。
- ・具体性があり臨場感が伝わる情報もあったが、情報が全くない団体や意図・協力のない団体もあった。
- ・訓練といえど地名や情報提供団体と関連した情報をあらかじめまとめておく必要があるのではないか。
- ・訓練放送を聞いたリスナーに役立つことで、細かい情報はエフエム戸塚を聞こうという信頼感を持ってもらえるようになるのが理想。
- ・パーソナリティーがスタジオに寄せた情報のうち、パーソナリティーが家の周りの情報やそこで行った緊急措置等を伝えすぐにスタジオに駆けつけていた姿は的確で好感を受けた。情報発信ブースからのパーソナリティーのレポートは、ブースとは何か、誰が設けたのか、帰宅困難者でも使えるのかなど基本的なことがわからないままだったような印象を受けた。
- ・田雑区長がスタジオで話した内容は好感を持てた。
- ・大型ビジョンが導入されたことで一時滞在場所などがビジョンで確認でき、耳で聞くだけでなく目で見て情報を得られるのは良かった。
- ・戸塚駅西口にはサクラスタジオもあるので使うとよい。いざというときのエフエム戸塚の役割に期待している。

審議委員(D)

- ・情報の詳細、建物の場所、細部な時間等をもう少し発信すべき。
- ・現場の状況を具体的に拾った方が良い。
- ・エフエム戸塚の安心感・信頼感をベースとする中で、様々な角度から情報を発信することが今後の課題である。

2. 放送番組全般に関するご意見・ご感想について

—各審議委員からの意見：各委員からの意見は次の通りである

- ・今までエフエム横浜を入れていたが、エフエム戸塚を聴くようになったというのは、自分としてすごいことだと思った。子供を可愛がるように自分のラジオだという思いが強くなり、ロコミをするようになった。
- ・車に乗った時にしか聞かないが、可聴エリアが小さいので番組全部を聴くことは少ない。
- ・ポールダンスのイベントは何だったのか。
- ・災害放送について東戸塚のスタジオと戸塚スタジオとのクロストークはできないか。
- ・東戸塚と戸塚を1年ずつ訓練しているが、実際に災害が起こった時は同時なので、同時の対策をしなければいけないのではないか。
- ・24時間動けるためにエフエム戸塚のパーソナリティーだけでなく情報を発信する人員を確保する必要がある。
- ・より多くのパーソナリティーが訓練放送を行えるように、様々なパーソナリティーが放送の練習をすべき。
- ・今回の「災害放送波」は震度5強が前提となってきたが、震度5のイメージできる災害様子を伝えるといいと思う。
- ・パーソナリティーのレポートでは、いつどこで何をそのようにという5W1Hを踏まえたレポートをしないと、リスナーに届かない。こうした配慮が欠けていたレポートが多かった。

3. その他の意見、感想（審議委員から）

- ・小学生の英語が必修になるので、英語の帯番組で英語に触れるのは良い。
- ・防災というテーマは局として取り組む必要があると感じる。

■審議会は、次回の日程を確認し終了した。

次回開催日：平成29年5月13日（土）12:00から